

小児用予防接種スケジュール

名前

生年月日

ワクチンの種類		接種回数	標準的な接種時期、接種間隔	接種日記入欄	対象者
☆B型肝炎	不活化ワクチン	1回目	生後2か月		全年齢
		2回目	1回目の4週間後		
		3回目	1回目の24～28週後		
☆ロタウイルス	生ワクチン	1回目	2か月		生後6週間から 遅くとも生後14週5日までに初回を開始
		2回目	3か月(1価のワクチンは6ヶ月までに2回で終了)		
		3回目	4か月(5価のワクチンは8か月までに3回で終了)		
◆ヒブ	不活化ワクチン	1回目			生後2か月から 5歳未満
		2回目	生後2か月から開始 27～56日の間隔をあける		
		3回目			
		追加	3回目終了後7か月以上の間隔をあける		
◆小児用肺炎球菌(13価)	不活化ワクチン	1回目			生後2か月から 5歳未満
		2回目	生後2か月から開始 27日～56日の間隔をあける		
		3回目			
		追加	3回目終了後60日以上の間隔をあけ、生後12か月以降(標準は生後12～14か月)		
◆4種混合	不活化ワクチン	1回目			生後3か月から 7歳6か月未満
		2回目	生後3か月から開始 20～56日の間隔をあける		
		3回目			
		追加	3回目終了の1年後(6か月あければ可)		
◆2種混合	不活化ワクチン	1回	11歳		11歳から13歳未満
◆BCG	生ワクチン	1回	生後3か月から1歳未満 (5～8か月を推奨)		生後1歳未満
◆MR(麻疹、風疹混合)	生ワクチン	1回目	1歳 (できるだけ早期に)		生後1歳から2歳未満
		2回目	小学校入学前の1年間		小学校入学前の1年間

☆おたふくかぜ	生ワクチン	1回目	生後1歳 (できるだけ早期に)		
		2回目	小学校入学前の1年		3歳から7歳
◆水痘(みずぼうそう)	生ワクチン	1回目	生後1歳から開始 (できるだけ早期に)		1歳から3歳未満 (2015年3月まで経過措置あり)
		2回目	1回目の終了後6カ月の間隔をあける (3か月から可)		
◆日本脳炎	不活化ワクチン	1回目	3歳 6日～28日までの間隔をあける		生後6か月から 7歳6か月未満
		2回目			
		追加	2回目から1年後 (6か月あければ可)		
		2期	9歳		9歳から13歳未満
☆インフルエンザ	不活化ワクチン		毎年10月～12月頃		13歳未満の場合は接種2回で1～4週間あける (3～4週を推奨)
☆A型肝炎	不活化ワクチン	1回目	2～4週間の間隔で接種		全年齢接種可能 (WHOは1歳以上を推奨)
		2回目			
		3回目	1回目の6か月後		
◆HPV(ヒトパピロウイルス) (子宮頸がん予防)	不活化ワクチン		中学1年の女子 (2価と4価があり、ワクチンによりスケジュールが違います。)		小学校6年から高校1年の女子

◆定期接種 : 定められた期間内に受ければ原則として無料。

☆任意接種 : 多くは有料。自治体によっては公費助成が受けられることもある。

* 回数の色分けが同じワクチンは同時接種が可能です。尚、何種類でも同時接種は可能です。

* *このスケジュールは標準的な接種方法です。病気などで予定通りに進まない時は、かかりつけ医に相談してください。